

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題 名              | 内 容                                                                                                                                                        | 企画・発売元                         | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------|------|---------|
| F  | 1  | 木枯らしの向こうに        | うしろめたさを感じながらも差別ビラの印刷を引き受けた主人公が、地域の人々と共に差別ビラの回収にあたり、「部落差別をなくそう。」と地域の人々に呼びかける。（住民が一体となって同和問題に取り組むことが必要であることを訴える。）                                            | 福岡市                            | 55    | 1989 | VHS     |
| F  | 2  | コスモスの道しるべ        | 12年前、父の反対を押し切って同和地区の女性と結婚したが、それ以来実家とは絶縁状態となる。そんなある日、小学校6年になった娘が置手紙をしてまだ生まれてから一度も会ったことがない祖父に一人で会いに行く……。                                                     | 福岡市                            | 54    | 1990 | VHS     |
| F  | 3  | 友子よ、晴れない霧はない     | 被差別部落出身の義姉をもつ中学生の友子の悩みを描く。そして、今、学級でおこっているいじめに苦しむ彼女の心の軌跡を通して、部落差別を撤廃していくことの道筋と展望を明らかにしようとする社会同和教育・学校同和教育兼用の感動のドラマ。                                          | 群馬県・群馬県教育委員会                   | 42    | 1989 | VHS     |
| F  | 4  | 心みつめて            | 同和地区に対する差別を乗り越えて結婚した若い夫婦の心の葛藤や周囲の人たちの思いやりを通して、日ごろから自らをしっかりと見つめ一人ひとりが自立していくこと、さらに家庭や職場あるいは地域社会の中で心のふれあいを通してお互いの絆を強めていくような生き方をするのが、あらゆる差別をなくしていく基盤となることを訴える。 | 兵庫県／（財）兵庫県人権啓発協会               | 47    | 1991 | VHS     |
| F  | 5  | 我ら心をつなげ          | 平凡なサラリーマンを主人公に、弟の結婚問題をきっかけに差別に対する心の揺れを描く。このドラマを通して企業の社会的な役割や責任の自覚とともに、一人ひとりが同和問題を自分自身の問題として受け止めることを図る。                                                     | 滋賀県                            | 44    | 1991 | VHS     |
| F  | 6  | 直子のブローチ          | 入院中、親切にしてくれた看護婦さんの婚約祝いにささやかなブローチを贈ろうとした中学生の直子は、差別をする人のために人々の人権がどれほど壊されるか、その恐ろしさを知る。そして母と共に差別を直視し、社会を見詰め直して行く。                                              | 栃木県・栃木県教育委員会                   | 23    | 1991 | VHS     |
| F  | 7  | ひとりひとりの空         | ある家族を中心にして職場における同和問題（結婚差別）、学校におけるいじめの問題、地域における同和問題について三話で構成。                                                                                               | 名古屋市・名古屋市教育委員会                 | 57    | 1992 | VHS     |
| F  | 8  | チェリーブラッサム【アニメ】   | 同和地区の若者が同和問題に直面したときどうするのかという問いかけで製作されている。                                                                                                                  | 大阪同和問題映像啓発推進協議会                | 42    | 1992 | VHS     |
| F  | 9  | へんてこなボランティア【アニメ】 | 読み書きができなかったためにつらい思いをしていた老婆に3人の中学生が文字を教えることになったというストーリーを基に、同和問題等について考えさせるように製作されている。                                                                        | 北九州市／北九州市教育委員会／北九州市同和問題啓発推進協議会 | 46    | 1993 | VHS     |
| F  | 10 | 同和問題と人権          | あるアマチュア合唱団の気の合う5人が練習の合間の歓談で話題になった「ふるさと」のことをきっかけに、同和問題について話し合う。差別の実態・同和問題の起源と歴史・地域改善対策の歩み・なぜ差別が続くのか等のテーマが話し合われる。                                            | （財）地域改善啓発センター                  | 21    | 1993 | VHS     |
| F  | 11 | ひらくまち            | 環境改善事業紹介映画。住民と行政が一体となって格闘している姿を描き、まちづくりについて考える機会を提供するとともに、地区住民の思いを通して、同和地区や同和地区の人々に対する差別意識や偏見を克服し、人権を尊重する精神を培っていくことの大切さを訴える。                               | 北九州市                           | 75    | 1993 | VHS     |
| F  | 12 | ザ・会社             | 建設会社支社の係長である主人公が、下請への参加強要というえせ同和行為に直面した時、何に悩み、どう対処し、そしてどう解決していったかを描いている。                                                                                   | 東映（株）                          | 35    | 1993 | VHS     |
| F  | 13 | 夜明けの旗 松本治一郎伝     | 少年時代から嘲られ、罵られて差別の洗礼を受けてきた松本治一郎は、成人して後、軍隊、社会、マスコミの差別と戦い、部落解放運動を進める水平社を率い、三百万部落民の先頭に立って真の解放を目指す。権力と激しく闘う中、穏やかで温かい人間性を失わない偉大な指導者の半生。                          | 高岩淡／日下部五郎／本田達男／佐藤雅夫            | 109   | 1976 | VHS     |
| F  | 14 | はるか素顔の19歳        | プロゴルファーになる夢を抱いてゴルフ場で働く若い女性が、常連客の娘の結婚をめぐり、自分が同和地区出身であることを悩むものの、先輩や友人の誠実な生き方を学び勇気づけられ、力強く生きていく過程を描いている。                                                      | 大阪府教育委員会                       | 54    | 1994 | VHS     |

# [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題名                      | 内容                                                                                                                                                            | 企画・発売元                         | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------|------|---------|
| F  | 15 | 芽吹き                     | 息子の結婚を反対したために、息子を不幸にしてしまった老婆と同和地区出身の若者がいじめられた小学生を助けるといったストーリーを軸に思いやりの心についての認識を促すという作品。                                                                        | 北九州市／北九州市教育委員会／北九州市同和問題啓発推進協議会 | 41    | 1994 | VHS     |
| F  | 16 | 君に心のパス                  | 同和地区出身の生徒が、クラブの先生が差別意識に対して何も反論できない姿を目撃し、反抗している姿を基に、教育実習にいった主人公が、自分のことから解決していこうという姿を描いている。                                                                     | 京都市・京都市教育委員会                   | 55    | 1994 | VHS     |
| F  | 17 | 人間解放 上杉佐一郎<br>七十余年の生きざま | 部落解放同盟中央執行委員長の激務にある上杉佐一郎が、解放運動に入った頃のこと、解放の父・松本治一郎のことなど活動に取り組んだ半生を語る。                                                                                          | (財)徳島県同和対策推進会                  | 54    | 1994 | VHS     |
| F  | 18 | 紫陽花のころ                  | 同和地区の青年と結婚した主人公が、結婚を認めようとしなない父親や子どもの結婚話のこじれを主人公夫婦のせいにする叔母等の偏見に対して毅然と反論する。そうした主人公の姿をとおして因習にこり固まった家庭の意識の変革を描いている。                                               | 大阪市／大阪市教育委員会                   | 30    | 1995 | VHS     |
| F  | 19 | あしたの足音                  | 娘の交際相手の陶芸家の青年が同和地区出身であるということに結婚を認めようとしなかった父親が家宝の茶碗の由来が語り継がれてきたものとは違っていたことがわかりショックを受ける。しかし、由来はどうであれ茶碗としての価値が高いことには変わりがないことに気づき、また、青年の思いやりにより自分の誤った考え方を変化させていく。 | 岐阜県・岐阜県教育委員会                   | 46    | 1997 | VHS     |
| F  | 20 | 「人権教育のための国連10年」と同和教育    | 戦後の同和教育の歴史や現状、識字運動の状況をインタビュー、現地取材を交えて説明し、また、1995年から始まった「人権教育のための国連10年」の意義、内容や各地の人権教育の取り組みの状況などを説明している。                                                        | 大阪人権博物館                        | 55    | 1996 | VHS     |
| F  | 21 | 大山君、奮戦す！                | 各企業の同和問題研修で、教材として使用されることを念頭に製作された映画で、見せるだけではなく、それを素材として議論していただくための、問題提起型の内容とし、構成も3作の短編からなるオムニバス形式で、研修に時間的制約のある場合でも、1作品だけで研修の題材としていただける。                       | 滋賀県                            | 56    | 1996 | VHS     |
| F  | 23 | おーい！                    | この物語は、実際に起きた差別調査事象をもとにフィクションとして構成されたものです。その中でたとえ悪意はなくても、知らないこと、知ろうとしないことも差別につながるということを理解してもらい、視聴者の皆さんに差別とは何かということをも自分自身の心にもう一度問いかけてもらう映画。                     | 同和問題啓発映画四区制作会／港区・品川区・目黒区・大田区   | 45    | 1997 | VHS     |
| F  | 24 | 根っこのルール 人権<br>と同和問題     | 「人権とは」「同和問題とは」「同和問題の原因」「同和行政の変遷」「人権啓発の歩み」などの諸課題を、聞き役と説明役の掛け合いでもといっていく。子どもの遊び、差別事象のドラマ、対談などを織り込み、同和問題の現状に迫る。                                                   | 総務庁地域改善対策室／(財)人権教育啓発推進センター     | 37    | 1997 | VHS     |
| F  | 26 | 勇気への出発（たびだち）            | 人との出会いの中で“差別に気づく”ことから“差別を許さない”厳しさ、そして“差別をなくす”営みへと、全ての人たちの意識が変わっていくための「ほんとうの勇気」とは何か、を問いかける。                                                                    | 滋賀県                            | 52    | 1999 | VHS     |
| F  | 27 | あかね雲                    | 「子どもに被差別部落をどう教えたらいいのか」と迷っている、母であり被差別部落出身教師である一人の女性の悩み、苦しみ、そして心境の変化を通して、自らの生きる意味と、夫や子ども達の心の揺れを丹念に描く。                                                           | 大阪市／大阪市教育委員会                   | 53    | 1999 | VHS     |
| F  | 28 | 風化からの告発                 | 1975年の部落地名総監事件から20有余年。あの時の戒を破り差別を商う、差別身元調査事件をとりあげ、企業と市民の差別意識を鋭く問うドキュメント！                                                                                      | ヒューマン・クリエイティブ・センター             | 32    | 1999 | VHS     |
| F  | 29 | らくがき                    | 駅のトイレに書かれた差別らくがきをきっかけに、同和問題に関心だった人々が、互いに抱える悩みをうちあけるうちに、それぞれが同和問題に関心ではいけないことに気づきはじめる。                                                                          | 和歌山県同和委員会                      | 35    | 1999 | VHS     |
| F  | 30 | セピア色の風景                 | 交通事故に遭った父。そのことがきっかけで、父のふるさとが同和地区であることを知った中学生の主人公は、父のふるさとへひとり旅立つ。そこで、父には別れ別れになった妹がいることを知る。父の体験から差別の厳しさを学んだ主人公は、友人とともに、差別を自分たちの時代にはなくしていいこうと誓う。                 | 和歌山県同和委員会                      | 55    | 1999 | VHS     |

# [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題 名                                      | 内 容                                                                                                                                                                              | 企画・発売元                              | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------|------|---------|
| F  | 31 | いのち輝く灯（あかり）<br>【アニメ】                     | 人権問題とは、差別される側の問題ではなく、差別する側の問題であるということ認識することができ、差別する心理の背景とは何なのか、同胞の精神をもって行動するとはどういうことなのかを自分自身の問題として考えることのできる作品。                                                                   | 北九州市／北九州市教育委員会／北九州市同和問題啓発推進協議会      | 48    | 1999 | VHS     |
| F  | 32 | 新時代へのステップ<br>～同和行政の転換期～                  | フリージャーナリスト角岡伸彦さん、京都産業大学助教授瀬本昌久さん、関西大学教授石元清英さん、総務省大臣官房地域改善対策室長佐藤文友さんによるトーク<br>①同和行政のこれまでの取り組み ②これまでの施策の評価 ③同和地区での取り組み ④今後の取り組み                                                    | 総務庁地域改善対策室／（財）人権教育啓発推進センター          | 29    | 1999 | VHS     |
| F  | 33 | 素顔の心でえびす食堂しあわせばなし                        | 大衆食堂を主な舞台に、離婚した二組の男女、これから結婚しようとする男女がおりなすドラマ。調査会社に勤める主人公は部落差別と直面し、自分だけの幸せが本当に幸せなのか自問自答する。そして、まわりの人たちに支えられて、自らの予断と偏見を解き放とうとするのだが…。                                                 | 大阪同和問題映像啓発推進協議会／大阪府／大阪府市町村／大阪府教育委員会 | 53    | 2000 | VHS     |
| F  | 34 | メール－MAIL－                                | ホームページ上での、悪質な差別的記事を書き込まれた女子高校生の主人公が、いわれのない非難と、一方では親友への自責の念に落ち込むが、同級生やプラスバンドの仲間の応援、両親や周囲の大人たちの支えで自ら立ち直っていく姿を描く。                                                                   | 大阪府教育委員会                            | 54    | 2001 | VHS     |
| F  | 35 | 川の約束                                     | 豊かな自然をたたえる江の川の流域には、差別とたたかいながら知恵と技で築かれてきた漁ろう文化がある。川とともに育ち、川とともに生きてきた川漁師の姿を通して、地域を支える文化や生きざまを描きながら、部落差別の問題を考える。                                                                    | 広島県                                 | 29    | 2000 | VHS     |
| F  | 36 | 人の世に熱あれ人間に光あれ<br>部落の歴史 1 [前近代]           | 部落差別はいつ頃から、何故、どのようにして生じたのか。人間の本来を、縄文時代以前にさかのぼって考え、歴史的に幕末まで、国家・社会の変遷とその中での差別のつくられ方、利用のされ方を、絵巻、史料、史蹟、劇画、イラスト、影絵と多様な映像を展開しながら実証的にみつめていく。                                            | 部落解放研究所                             | 40    | 1990 | VHS     |
| F  | 37 | 人の世に熱あれ人間に光あれ<br>部落の歴史 2 [近代]            | 近世、封建的な支配を強化するために生み出され、利用されてきた部落差別が明治維新を終った近代の日本社会でどう変わったか。実証的な史料、記録映像、ニュースフィルム、錦絵、影絵、絵画等の多彩な映像にインタビューを合わせて展開。明治維新から第二次世界大戦での敗戦、戦後の歴史の中で、部落差別の実態と解消への様々な動きをみつめ、併せて他の差別にも思いをめぐらす。 | 部落解放研究所                             | 40    | 1991 | VHS     |
| F  | 38 | 人の世に熱あれ人間に光あれ<br>部落の歴史 3 [現代]            | 第二次世界大戦の後、平等、人権を掲げる新憲法によって部落差別も解消していくかに思われたが、今なお続いているのはなぜか。戦後の差別をなくす具体的な取り組みを検証し、その時々には社会にはどういう事態が起こってきたか、これから求められる道は何かを実証的に見つめ、記録映像やニュースフィルム、影絵、絵画、イラスト等の映像を駆使して解き明かす。          | 部落解放研究所                             | 45    | 1992 | VHS     |
| F  | 39 | 「部落の心を伝えたい」①<br>更池の語り部・吉田小百合             | なんで読み書きできへんねん…学校行かれへんから なんで学校行かれへんねん…金ないからです なんで金ないねん…仕事ないんです なんで仕事ないねん……そこに部落差別があるからです<br>吉田小百合さんの、差別の中で生きてきた誇り、生きたち、子育て、命を慈しむ思いが綴られる。                                          | メディア総合研究所・風楽創作事務所                   | 30    | 1998 | VHS     |
| F  | 40 | 「部落の心を伝えたい」②<br>人の値うちを問うー<br>人権の詩人・江口いとー | 人権の詩として広く知られる「人の値うち」の作者であるいとさんは、息子の差別、孫の差別と3代にわたる差別を経験してきた。就職・結婚・学校現場での差別体験に基づく人間の存在への視点は鋭く、しかし温かい。解放のねがいに生涯をかけ続けるいとさん。その著「荊を越えて」の人生を克明に描いた人権ドキュメンタリー。                           | メディア総合研究所・風楽創作事務所                   | 25    | 2000 | VHS     |
| F  | 41 | 「部落の心を伝えたい」③<br>あしたの元気になる<br>元氣配達人・松村智広ー | 人権問題を明るく元気に前向きに捉え、全国各地での精力的な活動と、人を引きつけてやまない講演内容から、被差別部落の若きスターと呼ばれてきた松村さん。13年ぶりに復帰した中学校で始めたことは、全校生徒を集めてのヒューマンタイム。子どもたちの中に飛び込み、人間を育てることを決意した姿を追う。                                  | メディア総合研究所・風楽創作事務所                   | 27    | 2000 | VHS     |

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題 名                                                | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                       | 企画・発売元                                          | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------|------|---------|
| F  | 42 | 「部落の心を伝えたい」④<br>人の世に熱と光を 一<br>水平の渴仰者 西光<br>寺・清原隆宣一 | 21世紀の人権文化の思想的原点である『水平社宣言』。その精神を清原さんは「水平のものさし」の見直しと言う。人は何故、平等になれないのか。人は何故、尊敬詩合えないのか。西光万吉の系譜を引く清原さんを通して、『水平社宣言』の核心を描くノンフィクション。                                                                                                                                              | メディア総合研究所・風楽創作事務所                               | 26    | 2001 | VHS     |
| F  | 43 | 葉の花<br>【アニメ】                                       | 「福岡県の被差別部落の語り伝え」をもとに、人間らしく生きる道を奪われてきた人びとの悲しみと怒りそして誇りを描く。差別されることの痛みと差別することのおろかさについて考えさせる作品。                                                                                                                                                                                | 福岡県                                             | 20    | 1996 | VHS     |
| F  | 44 | 想い出の海                                              | 母の猛反対にあいながらも同和地区出身の由美との愛を貫いた哲也。だが、それが兄妹の将来に影響し社内でも様々な陰口が流れているのを知り、信念が揺らぐ…。その亀裂を修復していく過程を通し、人間として最も大切なものは何なのかを追求する。                                                                                                                                                        | 熊本県                                             | 57    | 1995 | VHS     |
| F  | 45 | おはようの音が響く街に                                        | 差別を受けながらも、希望を見だし、それを乗り越えて力強く生きる三世代の家族。一方、差別をしてはいけないと知りながら、世間体にとだわる両親の心を正していく高校生。二つの家族の葛藤から学び、人権尊重の社会をめざすドラマ。                                                                                                                                                              | 和歌山県同和委員会                                       | 35    | 2002 | VHS     |
| F  | 46 | えせ同和行為排除のために                                       | 「えせ同和行為」のなかでも依然として多い「機関紙・図書等物品購入の強要」。ある会社に一方的に送られてきた書籍の扱いをドラマで描きながら、実際の対応について解説する。                                                                                                                                                                                        | 法務省人権擁護局／<br>(財)人権教育啓発推進センター                    | 30    | 2003 | VHS     |
| F  | 47 | 一人ひとりの心は今！                                         | えせ同和行為に対してひるむことなく、一貫してき然とした態度で拒否し、また、障害者問題に社内でも取り組んでいく若い社員たちの姿を描く。                                                                                                                                                                                                        | 和歌山県人権啓発センター                                    | 34    | 2003 | VHS     |
| F  | 48 | 夢の約束                                               | 仕事に就くことができず悩んでいる青年。同和地区の出身であるため、愛しはじめた女性との仲も引き裂かれそうになる。悩み、苦しみ、そして愛し合いながら、確かな自分を求めて生きようとする青年とその周辺の人たち。彼らを結びつけたのは、心を合わせることによって一つの音をつくっていく太鼓の演奏だった。<br>このドラマをとおして、人が自分らしく生きることとは何か、それをみんなで支え合うにはどうすればよいかを考える。                                                                | 大阪人権問題映像啓発推進協議会／大阪府／大阪府市町村／大阪府教育委員会／大阪府市町村教育委員会 | 53    | 2003 | VHS     |
| F  | 49 | ラブレター                                              | 差別に苦しむ人々は、自尊感情を失ってしまうことがある。はたして、それは仕方がないことなのだろうか？「人はみんな愛される資格がある」これがこの作品のテーマ。それは、心に傷を持つ少女の成長とともに浮き彫りになる。彼女が勇気を持って書くラブレター。「ありのままの私を受け止めてください」これは、この物語を見ている人々に受け取ってもらおうためのラブレターである。                                                                                         | 大阪府教育委員会                                        | 54    | 2003 | VHS     |
| F  | 50 | 部落史学習ビデオ2<br>「全国水平社の思想と闘いに学ぶ」                      | 1. 全国水平社の創立 〈各地の被差別部落の青年の立ち上がり／水平社創立の意義〉 2. 水平社の思想と闘い 〈水平社は差別に対してどのように糾弾闘争をすすめたか／水平社は生活を守る闘いをどのようにすすめたか〉 3. 水平社の組織と人々 〈水平運動はなぜ大きく広まったのか／「水平新聞」の役割・「荆冠旗」の意味〉                                                                                                               | 大阪人権博物館                                         | 50    | 1992 | VHS     |
| F  | 51 | 部落史学習ビデオ3<br>「被差別部落の成り立ちに学ぶ」                       | 1. 被差別部落はいかにして出来たか 〈中世社会の被差別民について学ぶ／近世身分制と被差別部落の成立について学ぶ〉 2. 様々な被差別部落の成り立ち 〈被差別部落の成り立ちの地域的特徴を学ぶ／各地域に共通する成り立ちを学ぶ〉 3. 被差別民衆が担った芸能文化 〈中世の被差別民と彼らの創りだした芸能文化を学ぶ／被差別民が芸能文化に果たした役割を学ぶ〉                                                                                           | 大阪人権博物館                                         | 50    | 1993 | VHS     |
| F  | 52 | 部落史学習ビデオ6<br>「被差別部落の芸能と文化」                         | 1. 円通寺人形芝居 鳥取市南部の円通寺で、ふるくから歌われていた「念力節」にあわせて人形を操り、初春の門付芸として大黒舞とともに広まった円通寺人形芝居と、これを現在に継承する人々について紹介する。 2. 太鼓と渡辺村 近世に渡辺村と呼ばれ、「太鼓の町」として知られている大阪市浪速地区の歴史と太鼓職人の技、地域の青年達を中心となって結成した太鼓集団「怒」の活動のようすを浪速神社の夏祭りを中心に紹介する。 3. 被差別部落と食肉業 近世以来の牛馬の解体技術をいかして培われた被差別部落の食肉業が、日本の食文化に果たした役割を学ぶ | 大阪人権博物館                                         | 45    | 1999 | VHS     |

# [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題名                                           | 内容                                                                                                                                                                                                                                             | 企画・発売元                                  | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------|------|---------|
| F  | 53 | 部落史学習ビデオ10<br>「近世身分社会と被差別民 ― 役目と生業」          | 新たな部落史研究の成果をふまえ、前近代社会（中世、近世）の身分とは何か、あるいは近世身分社会のあり方を城下町・大坂を例に見るとともに、被差別民の果たしてきた役目と生業について学ぶ。 1. 身分とは何か 〈中世の身分／近世の身分〉 2. 城下町・大坂城町の形成と身分 〈大坂三郷の形成／城下町・大坂と諸身分〉 3. 被差別民の役目と生業 〈支配／役目／生業〉                                                             | 大阪人権博物館                                 | 51    | 2003 | VHS     |
| F  | 54 | 元気をありがとう                                     | 今日、社会は不況の真っ只中であって、誰もが生きることには精一杯の毎日を送っている。リストラで職を奪われた者、職があっても仕事が極端に減った者…。このような社会では、差別や偏見が増幅される危険性がある。弱い者、異端の者にそれは向けられる。社会をいい方向に向かわせるには何が必要なのか？ 人と人が真剣に生きてぶつかりあう中から人の痛みがわかる心が生まれ、生きる欲びも生まれ、人と人との連帯感も育つのではないか。このビデオの登場人物たちは、日々悩んでいる。私たちがそうであるように。 | 大阪市／大阪府教育委員会                            | 53    | 2002 | VHS     |
| F  | 55 | 「部落の心を伝えたい」⑤<br>峠を越えて ― 魂の同和教育実践者・森口健司ー      | あらゆる差別をなくしたいー森口健司さんは、その果てしない闘いに生涯をかけている。中学校教師としてユニークな同和教育「全体学習」を実践、そこで培われた豊富な体験と強い信念をもとに、現在は徳島県の派遣社会教育主事として差別解消への道筋をエネルギーに語り続けている。座右の詩「よろこび」「…ゆくさきは幾多迫害ありとてこの営みはわが終生の運命なり」しかしてこの営みは わが生命の生きがいにして わが生命のよろこびなり」。森口さんは、この道をまっすぐに歩き続ける。            | メディア総合研究所／風楽創作事務所                       | 25    | 2003 | VHS     |
| F  | 56 | ラストからはじまる                                    | 進路選択を前にした中学三年生の子どもたちが主人公。「ラスト」とは靴型のこと。吃音と人間関係に悩む生徒・光一とムラの靴職人・辰造との出会いや、様々な人たちとのふれあいによって、少年たち自身が互いの違いを越え、気づき、成長していくさまを描く。                                                                                                                        | メディア総合研究所／風楽創作事務所                       | 53    | 2003 | VHS     |
| F  | 57 | そっとしておけば…<br>寝た子を起こすなという考え方                  | ある市民劇団での出来事。「隠す」という意識をテーマに劇団員たちは自らの体験を振り返りながら「隠して生きる」ことの精神的負担や苦痛について語り合うが…。「そっとしておけば自然と差別がなくなる」という考え方は、差別をなくすための積極的な取組みを否定する。このビデオでは、ありのままの存在が肯定され、自らに誇りを持って生きることのできる社会のあり方を考える。                                                               | 人権啓発ビデオ制作委員会（社団法人部落解放・人権研究所／大阪府／大阪市／堺市） | 36    | 2004 | VHS     |
| F  | 58 | あなたへの問いかけ                                    | 授業参観・保護者懇談会の場面を通して、同和教育を受けたことのなかった保護者が率直な意見や疑問を述べあうことで同和問題の本質を考えていく作品。                                                                                                                                                                         | 大阪府豊中市教育委員会                             | 25    | 1992 | VHS     |
| F  | 59 | 私は負けない                                       | いじめや部落差別に苦しんでいる子どもたちが自らの力でその不当性に立ち向かうことの大切さ、さらには、無関心な層を被差別の子どもたちを支える層に変えていくために、自分たちの持っている差別意識や優越感に気づいていくことの重要性を、ある学級の実践の中で提起していく作品。                                                                                                            | 長野県同和教育推進協議会                            | 25    | 1992 | VHS     |
| F  | 60 | 明日があるやん                                      | 大阪の同和地区に生まれ、解放運動に身を投じている少年と、和歌山の高校で陸上競技に打ち込む少女を中心に、その周囲の人々や家族、友人たちをリアルに描き出し、同和問題の解決について誰もが身近なテーマとして考えることのできる作品。                                                                                                                                | 大阪市／大阪府教育委員会                            | 53    | 1998 | VHS     |
| F  | 61 | 残された日記                                       | 亡き妻佐代子が残した日記を巡って、これまでの自分の生き方を一変させられる出会いへと歩んでいく英一。英一の妻として、従順で控えめだったが、日記の中では自分が見出した世界で「自由」を生きている佐代子。そして、実家を追われ、被差別部落へ嫁ぎ、厳しかった時代の中を夫と共に生き、今なお、その誇りの中に座すみつ枝。三人の主人公の生き方を通して、被差別部落問題を考える作品。                                                          | （財）滋賀県解放県民センター／滋賀県                      | 56    | 2001 | VHS     |
| F  | 62 | 「部落の心を伝えたい」⑥<br>差別っていったい何やねん ― 歩く水平社宣言・川口泰司ー | 世代を越えて伝えなければならない強い思いがあるー差別のない社会を願い、懸命に生きてきた父や母、多くの先輩たち。川口泰司さんは26歳、その思いを語り継ぐ新世代である。差別の本質を追究し、自分の言葉とわかりやすい表現で語りかける川口さん。足元を見据えた日々の地道な活動に裏付けられたハートフルでエネルギーに満ちた講演は今、多方面から注目され多くの共感を生んでいる。                                                           | メディア総合研究所／風楽創作事務所                       | 30    | 2004 | VHS     |

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題 名                                         | 内 容                                                                                                                                                                                             | 企画・発売元               | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------|------|---------|
| F  | 63 | 部落史学習ビデオ11<br>「近代日本社会と部落問題」                 | 近世身分制社会から被差別民を解放することを宣言した「解放令」は「市民平等」の社会を実現しようとした。しかし、実際には、日本が近代化していく過程で新しい価値観や秩序が形成され、差別は生み出され続けた。近代日本社会の中で被差別部落の人々が差別と闘った運動をはじめとして、産業や思想などをさまざまな角度から学ぶ。<br>1 近代社会と部落差別／2 「市民平等」を求めて／3 改善から解放へ | 大阪人権博物館              | 60    | 2005 | VHS     |
| F  | 64 | ツイーンズ17（セブティーン）                             | 人生の岐路に立つ双子の姉妹。差別の現実から目をそらすことなく逞しく生きる姉と、広い世界に旅立って行く妹。人間が生んだ恐ろしい差別の歴史を学び、新しい時代を切り開いていく若者の姿を描いた作品。                                                                                                 | 龍野市民民主化推進協議会         | 55    | 2004 | VHS     |
| F  | 66 | 同和問題 これからの課題ー「特別措置法」の期限を迎えてー                | 劣悪な被差別部落の生活実態を解消するため1969年に施行された「同和对策事業特別措置法」が2002年3月に法期限を迎え、「同和問題はもう終わった」という声も出はじめているが、果たして部落差別は解消したのだろうか。「同和对策事業」の33年間の総括・検証し、これからの同和問題を考える。                                                   | 東映（株）                | 28    | 2002 | VHS     |
| F  | 67 | いま、部落を語る若者たち                                | 被差別部落を取り巻く若者たちが、等身大の自分を語り、活動を語り、悩みを語る。被差別部落のマイナスイメージを克服し、等身大のアイデンティティを模索し始めた若者たちの姿を追うなかで、部落差別に向き合う手がかりを探す。                                                                                      | 東映（株）                | 27    | 2004 | VHS     |
| F  | 68 | 人にいちばん近いまちーまき子の人権宣言ー                        | 同和地区の出身である15歳の少女が、いじめにあっている友人、学校の先生など身近な人との関わりの中で、周りの無理解な同和地区への偏見と闘う決意をし、〈人間〉への熱い思いを込めて、自分と自分の町について弁論大会の作文を書く。未来に向けて人が大切にされる本当の意味を考える作品。                                                        | 福知山市                 | 58    | 1995 | VHS     |
| F  | 69 | 「部落の心を伝えたい」⑦<br>人間の尊厳を求めてー<br>解放運動50年・森田益子ー | 森田益子さん、81歳。高知市会議員、県会議員などを歴任しながら、解放運動に50年携わる。人間の尊厳を求めてーその貧しく苦しい生いたちから学び、人との出会いや長い闘いの中で身につけた理論と実践の後に、成果という大きな足跡が遺っている。                                                                            | (有)メディア総合研究所／風楽創作事務所 | 25    | 2005 | VHS     |
| F  | 71 | ぬくもりの彩                                      | 突然障害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれが同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品。                                                                                   | 滋賀県                  | 36    |      | VHS     |
| F  | 72 | バースディレストラン                                  | 中学3年生の主人公が、父親の死によって初めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでを描いた作品。                                                                                                             | 滋賀県                  | 30    | 2000 | VHS     |
| F  | 73 | ヒューマン博士と考えようー差別から人権の確立へー                    | 日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人びとの生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人びとの歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげていくことを目的に制作された作品。                                                                                   | (財)福岡県人権啓発情報センター     | 28    | 2004 | VHS     |
| F  | 74 | 私たちの好きなまち                                   | 誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、「それぞれの違いを認め合い、共に生きる」「相手を思いやる」「夢を持って生きる」ことの大切さを私たちの訴えかけています。そして同和問題を今日的な視点から見つめ直すことで、私たち一人ひとりが「人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり」の主役であることに気付かせる作品。                                      | 兵庫県／<br>(財)兵庫県人権啓発協会 | 35    | 2005 | VHS     |
| F  | 75 | 橋のない川<br>【個人貸出のみ】                           | 住井すゑの大ベストセラーを映画化。鋭い感受性に恵まれた幼い兄弟。二人をたくましく育て上げる女たちのやさしさと強さ。その家族を中心に、みずみずしい恋、深い友情、そして差別にあがらって敢然と闘う。                                                                                                | ギャラリー／西友             | 132   | 1992 | VHS     |
| F  | 76 | だんじり囃子                                      | 母親たちの誤った考えに影響された子供たちが、だんじり囃子の太鼓を通じて、仲間の大切さを学び、友情を育んでいく。地域に伝わる伝統文化を通じて、人と人とのふれあう姿を描いた作品。                                                                                                         | 大阪府教育委員会             | 54    | 1997 | VHS     |
| F  | 77 | 部落の歴史（中世～江戸時代）<br>～差別の源流を探る～                | 部落差別は江戸時代の身分制度によって起こったのではなく、中世からの差別がその源流であり、被差別部落の人々が担ってきた役割は、私たちが生きていく上で必要不可欠なことであった。被差別部落の歴史を新たな視点から捉えることができる作品。                                                                              | 東映（株）                | 27    | 2007 | VHS     |

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号 | 題名                                            | 内容                                                                                                                                                                                                              | 企画・発売元                                          | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|----|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------|------|---------|
| F  | 78 | 部落の歴史（明治～現代）～近代化が存続させた差別～                     | 明治以降の日本及び被差別部落の歴史をふまえ、「全国水平社の創立」、「オールロマンス事件」、「同和対策事業特別措置法」、「部落地名総鑑」の背景や被差別部落の人々の状況など、同和問題を考える上で基礎となる知識を分かりやすく解説した作品。                                                                                            | 東映（株）                                           | 26    | 2007 | VHS     |
| F  | 79 | 「部落の心を伝えたい」⑧<br>ぬくもりを感じて一刺激的ナイスガイ・中倉茂樹一       | 中倉茂樹さん（29歳）、現在、警備会社で働きながら、年間70回に及ぶ講演活動を行っている。「部落差別をなくすことに人生を賭けたい」と力強く語る中倉さんだが、実は小学校の6年間、今では信じられないようないじめにあっていたという。講演では、体験を通じた自らの心情を具体的に語り「人権学習、同和教育はいじめをなくすだけでなく、皆が幸せになるための勉強だよ」と若い感性に訴えかけた。                     | (有)メディア総合研究所／風楽創作事務所                            | 30    | 2006 | VHS     |
| F  | 80 | 「部落の心を伝えたい」⑨<br>私からはじまる人権一子どもに伝える・柴原浩嗣・宮前千雅子一 | 柴原浩嗣さん（43歳）は、(財)大阪府人権協会の人権啓発部長。宮前千雅子さん（41歳）は、大学で人権問題の講座を担当。2人は1993年に結婚、ともに人権問題に深く関わる人生を選択してきた。3人の子どもたちに恵まれた今、一番の問題は小6の上の子に、被差別部落出身をどう伝えていくかということ。仕事の上で、生活の場で、2人の共通のテーマはまさに「私からはじまる人権」の実践であり、「そしてあなたは？」の問いかけである。 | (有)メディア総合研究所／風楽創作事務所                            | 27    | 2006 | VHS     |
| F  | 81 | 「部落の心を伝えたい」⑩<br>えびす舞に思いをのせて一でこまわしを復活・辻本一英一    | 辻本一英さん（55歳）は、被差別民の生活文化や伝統芸能の調査研究と掘り起こしの取り組みをライフワークとしている。地元では、自主夜間学校（識字学級）、芝原生活文化研究所などを主宰しながら、阿波木偶箱廻しを復活する会の仲間とともに、講演活動を精力的にこなしている。大学卒業後、臨時教員時代に同和教育と出会った辻本さん。長い葛藤の時代を経て、ふるさとで部落解放運動に取り組む。                       | (有)メディア総合研究所／風楽創作事務所                            | 28    | 2006 | VHS     |
| F  | 82 | グローバルに生きる<br>vol.1「風の人になりたい」岡本工介～アメリカ編～       | 環境教育プランナー岡本工介（28歳）の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着したドキュメンタリー。インディアン居住区や黒人解放運動の地で再確認した「つながる教育」の尊さ。これまでの運動の意味・成果をふまえた上での、これからの展望。部落問題が新しい時代に入った今だからこそ世に問う作品。                                                                  | 風楽創作事務所／フルーク映像（株）                               | 37    | 2007 | DVD     |
| F  | 83 | 差別意識の解消に向けて<br>第1巻「人権のまちづくり」（一般向け）            | 家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、同和地区やそこを含む校区にある物件を避ける人が、今もなお存在するのなぜか。その根底には「同和地区の土地に対する忌避意識」がある。地区内外の人たちがより良い暮らしをするために、生活現場で協働して「人権のまちづくり」に取り組んでいる大阪府内の2つの事例を通して、差別や偏見の解消に取り組む人びとの思いを伝える作品。                      | 大阪人権問題映像啓発推進協議会／大阪府／大阪府市町村／大阪府教育委員会／大阪府市町村教育委員会 | 29    | 2007 | DVD     |
| F  | 84 | 差別意識の解消に向けて<br>第2巻「宅地建物取引における土地差別（企業向け）」      | 宅地建物取引業の人びとへのインタビューを通して、土地差別の実態を紹介し、実際の宅地建物取引において、人権問題直面したとき、どのように対処すべきか、そして企業として、住宅という人びとの生活基盤に携わる側の人権意識の高揚がいかに大切かを映像を通して考える作品。                                                                                | 大阪人権問題映像啓発推進協議会／大阪府／大阪府市町村／大阪府教育委員会／大阪府市町村教育委員会 | 22    | 2007 | DVD     |
| F  | 85 | 差別意識の解消に向けて<br>第3巻「土地差別問題を考える」（行政向け）          | 大阪府内で実際にあった宅地建物取引での土地差別をドラマで再現し、実態のない噂や風説に基づいて温存されてきた同和地区に対する忌避意識が、自分の利害に関係する宅地建物取引に直面したとき、どのように具体的な差別行為となつてあらわれるか、どのように対処すべきか、行政職員として土地差別に関わる人権問題に直面したとき、どのように対応すべきかを自分自身の問題をして考える作品。                          | 大阪人権問題映像啓発推進協議会／大阪府／大阪府市町村／大阪府教育委員会／大阪府市町村教育委員会 | 24    | 2007 | DVD     |
| F  | 87 | グローバルに生きる<br>vol.3「出会いを紡ぐ」川崎那恵・武田緑            | アメリカ留学の経験をもつ川崎那恵（25）、ピースボートで世界一周した大学生・武田緑（21）。生い立ちや活動は違っても、互いにリスペクトするふたり。部落問題を共有するため、そして何より、自らが気持ちよく生きるために、肩肘張らず、柔らかいつながりの中で人権を考えていきたい……。若者が主人公の、海外ロケを中心にした大型ドキュメンタリー作品。                                        | 風楽創作事務所／フルーク映像（株）                               | 30    | 2008 | DVD     |

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号  | 題 名                                  | 内 容                                                                                                                                                                                                      | 企画・発売元                   | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|-----|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------|------|---------|
| F  | 88  | グローバルに生きる vol.2「ダリットに学ぶ部落の心 坂東希インド編」 | 国際NGO・反差別国際運動で働く坂東希(29)。6度目のインド訪問では、ふるさと和歌山からのスタディーツアーをリードします。カースト制度による差別が今も根深く残る南インドの農村部。日本のかつての被差別部落との類似性に、参加者たちは連帯の思いを強くしていきます。カースト制度下「不可触民」とされたダリットの人々との交流を通して、自らの解放運動の意味を考える主人公の姿を描きます。             | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2008 | DVD     |
| F  | 89  | 同和問題と人権ーあなたはどうか考えますかー                | 同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくならないのか。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか、ビデオを見ながら一緒に考えることができるアニメーション作品。                                                                                          | 法務省人権擁護局／(財)人権教育啓発推進センター | 28    | 2009 | DVD     |
| F  | 90  | 部落の心を伝えたい⑪「あすなろを生きる野上早苗」             | 40年以上も続く福岡の「あすなろ解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人達が集い、学び合い、話し合い、笑い、涙する。代表の野上早苗さん(58)が語る、一人からはじまる解放運動とは。                                                                                                               | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 26    | 2009 | DVD     |
| F  | 91  | 部落の心を伝えたい⑫「若い力は今 吉岡綾」                | 自らの差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん(27)。今、講演依頼が相次ぐ。若さ溢れる熱く力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。                                                                                                                       | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2009 | DVD     |
| F  | 92  | 私の中の差別意識 部落差別問題から考える ※ワークシート付        | 部落差別問題を通し、人の心のなかにある差別意識への気づきを促してゆく作品。「差別とは何か考える」「なぜ差別は残るのか考える」「あなたの中にある差別・偏見について考える」3つのパートで構成されている作品。ドキュメンタリーを通し、差別を受けた人びとの心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけを提供する。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力をもつことの大切さを伝える。 | 東映(株)                    | 24    | 2010 | DVD     |
| F  | 93  | 部落の心を伝えたい⑬「母娘で問うた部落差別 坂田かおり・愛梨・瑠梨」   | 鳥取県米子市を拠点に西日本で幅広く活動する坂田かおりさん。愛梨さん瑠梨さんとの母娘講演が今、大きな反響を呼んでいる。実体験を下に、部落差別をはじめあらゆる差別にNO！を。                                                                                                                    | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2010 | DVD     |
| F  | 94  | 部落の心を伝えたい⑭「人権感覚を磨きませんか 大湾昇」          | 沖縄出身の父と被差別部落出身の母の下、徳島県で生まれ育った大湾さん。心理テストや自筆のマンガを使ったユニークでユーモラスな講演が人権問題を分かり易く説き起こす。                                                                                                                         | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2010 | DVD     |
| F  | 95  | 部落の心を伝えたい⑮「夫婦で差別と闘います！ 石井真澄・千晶」      | 琵琶湖の辺り、結婚3年の石井夫婦。被差別部落出身の妻と被差別部落外の夫は、結婚差別を契機に講演活動を始めた。異なる立場からの夫婦講演が差別の実態を重層的に暴いていく。                                                                                                                      | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2010 | DVD     |
| F  | 97  | 部落の心を伝えたい⑯「ドラゴン流“人権とダンス” 松本柳子」       | 京都市内の被差別部落で生まれ育ったドラゴン先生。父の遺言である「優秀＝人の憂いに寄り添う」を実践して30年。年齢・性別・障がいの有無を問わない150人のメンバーが集うダンスサークルと関わって10年。ダンスで育む「人のつながり」「心の癒し」。喜怒哀楽の素直な発露がダンスに結実。「プライドとリスペクト」が人間解放の要諦と語るドラゴン先生の怒濤の日々。                           | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2011 | DVD     |
| F  | 98  | 部落の心を伝えたい⑰「仕事作りが私の仕事 植並鈴枝」           | 中学3年での父の死。以後、学業と仕事を両立させ、あらゆる働く現場を体験。それが現在の仕事である就労支援に結びついた。解放運動に生きた父の口癖は「仕事保障」。働くことで社会とつながる。就職困難者の就労支援を通して、人権確立の社会づくりを担う。                                                                                 | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 25    | 2011 | DVD     |
| F  | 99  | アニメーション 洪染一揆ー明日に架ける虹ー                | 江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした藩の差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人間としての誇りをかけた要求を貫いて成功させた「洪染一揆」をアニメーション化したもの。筋道を立てた要求と整然とした行動などから、不当な差別に生命をかけて立ち向かった人々の勇気や、人権を守ることの大切さについて考えることができる作品。                       | 岡山県・岡山県教育委員会             | 30    | 2001 | VHS     |
| F  | 101 | 部落の心を伝えたい⑱「無知を許さず」ー連続大量差別はがき事件ー浦本蒼至史 | 当事者として地獄の苦しみを味わった経験からつかんだ真実を語り続ける。二度と同じ事件が起きない事を願って。同和問題を始めとするあらゆる人権問題は“無知”に起因することを具体的に解説。差別解消の道は“啓発活動にあり”と説く。                                                                                           | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)        | 30    | 2012 | DVD     |



## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号  | 題 名                                                 | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                    | 企画・発売元                      | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|-----|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------|------|---------|
| F  | 102 | 部落の心を伝えたい⑱<br>「差別を許さない自分づくり」－寝た子を起こして30年－<br>長谷川サナエ | 1981年の支部結成時から解放運動一筋に生きてきた長谷川さん(66)。先祖の差別戒名を心に刻みながら部落差別と闘う。“寝た子を起こすな”の風潮は根強く残る。66歳の今も、講演活動や被差別民衆の伝統芸能の復活など、活動は多岐に亘る。                                                                                                                                                    | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 26    | 2012 | DVD     |
| F  | 103 | 部落の心を伝えたい⑳<br>「52歳の立場宣言」－ななかまがいれば人は変わる－岡潤爾          | 「ケモノの皮剥ぐ報酬として…」水平社宣言の一節を生きてきた岡さんが体験した多くの差別事件から学ぶべきものとは？本気でなければ、人は変わらない。語り合い、共感・共鳴し…人は動く。50歳にしてつかんだ岡さんの信念だ。                                                                                                                                                             | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 26    | 2012 | DVD     |
| F  | 105 | 部落の心を伝えたい㉑<br>「結婚差別400事例」－弘瀬喜代－                     | 「通婚率90%以上」そんな統計から、部落差別は解消したかのような誤った認識が広がっている。数字の奥にある厳しく悲しい現実を知る弘瀬喜代さん(52)の講演は激しく心を打つ。                                                                                                                                                                                  | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 28    | 2013 | DVD     |
| F  | 106 | 部落の心を伝えたい㉒<br>「こころの窓を拓いて」－明石一朗－                     | 差別解消の道筋は「教育のチカラ」と確信する明石一朗さん(58)、子どもの暮らしから人権を考える現役の校長先生だ。明るく笑いあふれる講演は、今日の部落問題を誰にもわかりやすく明快に論じる最適な「入門編」。                                                                                                                                                                  | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 30    | 2013 | DVD     |
| F  | 107 | 部落の心を伝えたい㉓<br>「歩の歩み80年」－山本栄子－                       | 60歳を過ぎてから夜間中学に入学、夜間高校を経て大学に進学した山本栄子さん(82)。識字を求め、部落差別と闘い続けてきた情熱あふれる人生から掴んだ将来展望を、エネルギーに全国各地で語り続ける。                                                                                                                                                                       | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 26    | 2013 | DVD     |
| F  | 108 | 入門 ビジュアル教材<br>部落解放運動の歩み<br>人間は尊敬すべきもの               | 1922年3月に全国水平社が創立されて以来、あらゆる差別の撤廃と、全ての人が人として尊重される社会の実現を呼びかけた水平社宣言の基本精神に基づいて、部落解放運動は幾多の試練を経ながら歩みを続けている。(3部構成各20分)                                                                                                                                                         | (社)部落解放・人権研究所<br>ビデオ工房AKAME | 60    | 2013 | DVD     |
| F  | 109 | 導入研修用 人権啓発DVD<br>考えよう！人権 ①<br>同和問題を考えよう             | 1948年に世界人宣言が国連で採択されて以来、人権意識が深まり、人権擁護について様々な取り組みが行われてきたが、今なお私たちのまわりには人権上解決すべき問題が数多く存在している。<br>本DVDは、社員教育などにおける人権啓発の導入研修用として、人権について5つのテーマを簡潔にまとめ、具体的な事例をもとにわかりやすく解説した映像教材である。今回、最新の法改正や事例、データをもとに2002年版を改定。                                                              | ㈱日企                         | 11    | 2012 | DVD     |
| F  | 110 | 峠を越えて～魂の同和教育実践者 森口健司～                               | あらゆる差別をなくしたいー森口健司さんは、その果てしない闘いに生涯をかけている。中学校教師としてユニークな同和教育「全体学習」を実践、そこで培われた豊富な体験と強い信念をもとに、現在は徳島県の派遣社会教育主事として差別解消への道筋をエネルギーに語り続けている。座右の詩“よろこび”“…ゆくききは幾多迫害ありとてこの営みはわが終生の運命なり しかしてこの営みは わが生命の生きがいにして わが生命のよろこびなり”。森口さんは、この道をまっすぐに歩き続ける。                                    | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 25    | 2003 | DVD     |
| F  | 111 | 部落の心を伝えたい㉔<br>皮革から見える部落問題－柏葉嘉徳－                     | 皮革を通して部落問題を伝え続ける柏葉嘉徳さん。自身の工場でのユーモア溢れる講演と皮なめしの体験学習が参加者の意識を大きく変えていく。                                                                                                                                                                                                     | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 27    | 2014 | DVD     |
| F  | 112 | 部落の心を伝えたい㉕<br>芸能と差別－中西和久－                           | 芸能万華鏡「しのだづま考」を演ずる中西和久さん。三代続く役者稼業の歴史は、100年に及ぶ部落解放運動の歴史と重なっていく。                                                                                                                                                                                                          | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 23    | 2014 | DVD     |
| F  | 113 | 部落の心を伝えたい㉖<br>生きた童話を届けたい－筑豊大介－                      | 途絶えていた猿まわし芸を復活させた功労者の一人・筑豊大介さん。叩き仕込みではなく言って教える本仕込みの教育論が注目を浴びる。                                                                                                                                                                                                         | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 28    | 2014 | DVD     |
| F  | 114 | あなたに伝えたいこと                                          | この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」である。主人公の親友がネット上の悪質な書き込みにより中傷されていることをきっかけに、祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知る。ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いをしることの大切さに気づく。<br>インターネットの持つ危険性に私達がどう向かい合っていくのか問い直すとともに、同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事でないこと、正しく知ることが同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを明るい希望とともに伝える作品。 | 兵庫県、<br>(公財)兵庫県人権啓発協会       | 36    | 2014 | DVD     |

# [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号  | 題 名                                             | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                     | 企画・発売元                      | 時間(分)              | 制作年  | VHS/DVD |
|----|-----|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------|------|---------|
| F  | 115 | 同和問題<br>～過去からの証言、未来への提言～<br>～未来に向けて～            | この教材は、我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめている。                                                                                                        | 法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター | 80<br>(61)<br>(19) | 2014 | D V D   |
| F  | 116 | 部落の歴史（中世～江戸時代）<br>～差別の源流を探る～                    | 部落差別は江戸時代の身分制度が原因ではなく、中世から差別意識が続いてきたことが分かってきた。中世以降なぜ部落が差別されるようになったのかを検証し、差別の本質を考え、現代の差別と向き合う姿勢を問う。                                                                                                                                                      | 東映（株）                       | 27                 | 2007 | D V D   |
| F  | 117 | 部落の歴史（明治～現代）<br>～近代化が存続させた差別～                   | 解放令により部落制度はなくなったが、差別意識は解消されず、急速な近代化と資本主義の発展の中、被差別部落は持続した。貧困や格差といった今日的な問題を、近代の部落問題は孕んでいる。                                                                                                                                                                | 東映（株）                       | 26                 | 2007 | D V D   |
| F  | 118 | 「部落の心を伝えたい」⑲<br>出会いから学ぶ<br>～しなやかな新世代・高田美樹～      | 人は人との関わりなくして生きることはいかなる。マイナスの出会い、プラスの出会い、そして、出会いが人を変え人生を豊かに作り上げていく。高田美樹(29)さん、高校での生涯の仲間との出会い…母方の祖父との18年目の出会い直し…働く現場で体験した様々な差別…それらを全て養分に転換し、しなやかに生きる。暗・重・辛を明・軽・楽に変える新世代の誕生。                                                                               | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 29                 | 2015 | D V D   |
| F  | 119 | 「部落の心を伝えたい」⑳<br>夢のために<br>～闘い続ける家族・中山末男～         | 久留米を拠点に人権啓蒙一筋に生きてきた中山末男(68)さん。剛直十やさしさを併せ持つ人間性が中山さんの真骨頂だ。今も第一線を飛び回る日々。父は解放運動の先駆者として生きた。母は廃品回収のリヤカーを引き家族を支えた。兄は狭山事件の主任弁護人を務める。人権フェスタでは「ばあちゃんのリヤカー」を上演。夢のために…、中山さんの熱い思いを伝える。                                                                               | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 28                 | 2015 | D V D   |
| F  | 120 | 「部落の心を伝えたい」㉑<br>私は変わることができる<br>～熱と光で生きる力を・西村敦郎～ | いじめられっ子で自尊心を持てなかった中、中学2年で親友の家で初めての部落差別を受ける。高校に入ってから解放研の仲間との出会いが転機となったが、自衛隊で敬愛する上司から再び受けた部落差別。今、文化センターの館長として解放運動に邁進する。自らの人生を赤裸々に語ることから差別の本質を突く。                                                                                                          | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 26                 | 2016 | D V D   |
| F  | 121 | そんなの気にしない                                       | 人権問題は身近な生活のなかにひそんでいて、日常のなにげない一言や行動の中にその芽がある。人権の基本は、相手を思いやり大切にすること、そして、自分の尊厳も守り大切にすることを学ばせるものである。                                                                                                                                                        | 東映(株)教育映像部                  | 17                 | 2016 | D V D   |
| F  | 122 | 「部落の心を伝えたい」㉒<br>ありのまま生きる<br>～坂田愛梨・瑠璃            | 母から受け継いだ「ありのまま生きる覚悟」。就職・結婚・出産を経た今、伝えるべきことは？仲間、つながり・・・部落問題をはじめとする人権問題を考えることが「生きる力」を育んだ。                                                                                                                                                                  | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 24                 | 2017 | D V D   |
| F  | 123 | アニメーション 洪染一揆<br>～明日に架ける虹～                       | 江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人間としての誇りをかけた要求を貫いて成功させた取り組み。                                                                                                                                                                | 東映(株)                       | 30                 | 2001 | D V D   |
| F  | 124 | 「部落の心を伝えたい」㉓<br>差別を問うた20年／29の証言                 | 当事者が自ら出演し部落問題の本質を語るスタイルの本シリーズの全29巻を俯瞰し語り部たちの至言を網羅した。                                                                                                                                                                                                    | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 30                 | 2016 | D V D   |
| F  | 125 | 「部落の心を伝えたい」㉔<br>編<br>「恥ずかしいのはどっちだ」差別する側・される側    | 「人権テイク・ルート（根を張る）」を提唱し、各地に「人権の根を張って生きる」個人をつなぐ取り組みを行っている江嶋修作氏の新しい解放教育とは？                                                                                                                                                                                  | 風楽創作事務所／フルーク映像(株)           | 27                 | 2018 | D V D   |
| F  | 126 | 洪染一揆を闘いぬいた人々                                    | 江戸時代の身分制の中で、差別政策に対して、要求を貫いて成功させた洪染一揆の取り組みを、現地取材し経緯を丁寧に追いかけて、いま学ぶことは何かを問いかける。                                                                                                                                                                            | 東映（株）                       | 18                 | 2017 | D V D   |
| F  | 127 | だけん・なん                                          | 同和地区出身である亜希子は、高校時代、県下随一の長距離ランナーとして、実業団で活躍することを夢んでいたが、就職差別を受けて以来走ることをやめてしまった。現在は、結婚して夫と小学生二人の子どもと暮らし、持ち前のバイタリティーで勤務先のスーパーでも係長に抜擢されて忙しくも充実した毎日を送っている。ある日、小学校で子どもが受けたいじめをきっかけとして、周囲に未だに部落差別が根強く残っていることに憤りを感じ、差別や偏見に負けずに生きる姿を子どもにみせるため再びマラソン大会に出場することを決意する。 | 熊本県                         | 58                 | 1997 | D V D   |

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号  | 題 名                                              | 内 容                                                                                                                                                                                                               | 企画・発売元            | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|-----|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|------|---------|
| F  | 128 | 明治維新と賤民廃止令                                       | 明治政府が、差別をなくすためではなく、地租改正により税を取る目的で「賤民廃止令」を出したこと、したがって壬申戸籍に差別的な記載をすることも政府自身が許可したことなどを、公文書をもとに丁寧に描く                                                                                                                  | 東映（株）             | 18    | 2015 | D V D   |
| F  | 129 | 「部落の心を伝えたい」⑫<br>ネット差別を許すな！<br>川口泰司               | 今、ネット空間を主戦場に部落差別が展開。差別情報の拡散、「部落地名総監」公開など、「ネットを悪用した部落差別」の現実を解説。何が問題で、どう解決するのか、道筋を示す。                                                                                                                               | 風楽創作事務所／フルーク映像（株） | 28    | 2014 | D V D   |
| F  | 130 | 今そこにいる人と、しっかり出会う                                 | いま、現代社会でもさまざまな差別の問題が起こっているが、本作では、同和問題について理解を深めていただくと同時に、同和問題をモチーフに、人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントになる作品である。                                                                                                     | 東映（株）             | 24    | 2020 | D V D   |
| F  | 131 | 水平社を立ち上げた人々                                      | 日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを、現地や関係者を訪ねて取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をなすべきか問いかける。                                                                         | 東映（株）             | 17    | 2020 | D V D   |
| F  | 132 | ひとと皮革（かわ）の歴史                                     | 「死は穢れている」という差別につながる考えさえも、ほかならぬニカワでできた墨の文字や絵の助けを借りて、社会へ広がっていった。このDVDでは、皮革製品の製造過程を取材した貴重な映像を通して、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えさせる教材である。                                                                                      | 東映（株）             | 19    | 2020 | D V D   |
| F  | 133 | 許すな「えせ同和行為」～あなたの会社を不当な要求から守ろう～                   | 「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為」の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策をわかり易く紹介しています。<br>ドラマの主人公を「えせ同和行為対策」を任された中小企業の従業員に設定しているので、こうした問題に関わったことのない人でも、自分のこととして共感しながら見ていただけたと思います。                                                       | 風楽創作事務所／フルーク映像（株） | 36    | 2020 | D V D   |
| F  | 134 | 考えてみよう 差別の歴史<br>①古代の身分と差別                        | 部落差別は、長年にわたる被差別部落出身者たちを中心とした解放に向けた運動とそれに連帯した民衆の努力によって、解決の方向に向かっていますが、残念ながらなお結婚差別やネット上の差別など、厳しい差別が後を絶っていません。そうした深刻な状況を踏まえて2016年に公布・施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」第5条の「教育及び啓発」の必要性が謳われ、教育の課題に少しでも資するように企画され、制作されたものです。     | （株）映学社            | 24    | 2020 | D V D   |
| F  | 135 | 「部落の心を伝えたい」⑬<br>12年後の決断～吉岡綾～                     | 第12巻「若い力は今」から12年。その間、綾さんは結婚し、生活環境も激変した。二人のこどもに部落についてどう伝えるべきか、母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにある。                                                                                                          | 風楽創作事務所／フルーク映像（株） | 28    | 2021 | D V D   |
| F  | 136 | 考えてみよう差別の歴史<br>②中世のケガレ観と差別                       | 本シリーズは、部落差別の解消の推進に関する法律第5条の教育の課題に少しでも資するように企画、制作されたもの。制作に当たっては、第1に、日本における人権史研究、とくに部落史研究の最新の成果を反映させること、第2に、今まで積み上げられてきた人権教育、特に同和教育の実践の成果を踏まえることに留意した。                                                              | （株）映学社            | 21    | 2020 | D V D   |
| F  | 137 | 部落の心を伝えたい（番外編）<br>私と部落とハンセン病～林力 99歳の遺言～          | 九州で初めて同和教育を始めた林力さん99歳、そのきっかけは父のハンセン病だった。林さんは父の「隠して生きる！」の言葉に忠実に生きる。教員となった林さんは被差別部落の子たちと接する中で「水平社宣言」に出会う。「隠して生きる」ことの意味を自らに問い続ける日々…。「恥でないことを恥とするとそれは本当の恥になる」51歳で『解放を問われつづけて』を出版。「無知こそ差別の始まりである」林さんは揺るぎない信念で反差別を貫き通す。 | 風楽創作事務所／フルーク映像（株） | 26    | 2023 | D V D   |
| F  | 138 | 部落の心を伝えたい（番外編）<br>部落差別 まだあるの？どこにあるの？なくせるの？～ 奥田均～ | 実践の場で、教育の場で、また様々な著作を通して、長年に亘り部落問題と向き合い続ける近畿大学名誉教授・奥田均さん。2016年部落差別解消推進法が施行されてから8年、まだまだ残る「まだあるの？どこにあるの？なくせるの？」という素朴かつ根本的な問いに、分かりやすく丁寧に答える講演は全国各地で大きな反響を呼んでいる。豊富な体験、積み上げた研究実績、最新データの活用を駆使する“奥田節”を収録した画期的ビデオ教材。       | 風楽創作事務所／フルーク映像（株） | 30    | 2024 | D V D   |

## [部落差別（同和問題）]

| 記号 | 番号  | 題 名                                       | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 企画・発売元                 | 時間(分) | 制作年  | VHS/DVD |
|----|-----|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------|------|---------|
| F  | 139 | シリーズ・人権を考える<br>反対する理由<br>結婚差別を乗り越えて       | 被差別部落出身者との結婚に対する根強い偏見と家族の葛藤を描いた人権ドラマ。交際を巡る親の反対、身元調査、そして過去の差別体験が浮かび上がる中、若者たちは理解と対話を重ねて差別の壁を乗り越えようとする。実話をもとに、結婚差別の現実と人権の本質を問いかける作品。                                                                                                                                                                                       | (株)映学社                 | 21    | 2024 | DVD     |
| F  | 140 | シリーズ・人権を考える<br>いつの間にか拡散<br>ネットに潜む部落差別     | 情報化社会の進展により、部落差別はネット上で巧妙かつ無自覚に拡散されるようになった。本作は、SNSや電子掲示板などに潜む差別的書き込みやプライバシー侵害の実態を明らかにし、差別を許さない意識と行動の重要性を訴える。現代の差別のかたちを問い直す人権啓発教材。                                                                                                                                                                                        | (株)映学社                 | 21    | 2024 | DVD     |
| F  | 141 | 部落の心を伝えたいシリーズ(35)<br>私は部落から逃げてきた 西田昌矢     | 水平社宣言から100年の2022年、九州の新聞社の連載記事が大きな反響を呼んだ。担当した当時28歳の記者・西田 昌矢さんは、カミングアウトした上で家族や友人・知人へ取材し、部落問題の現実を描いた。今、その体験をもとに講演活動を行っている。                                                                                                                                                                                                 | フルーク映像(株)              | 30    | 2025 | DVD     |
| F  | 142 | シリーズ・人権を考える<br>ネット時代の落とし穴<br>現代の部落差別から考える | SNS上で広がる部落差別における「現代的レイシズム」を真正面から描いた教材です。「現代的レイシズム」とは、「差別はもう存在しないのに、被差別者が利権や特権を得るために差別だと騒いでいるだけだ」とする言説であり、SNS上の差別的投稿に多く見られます。さらに、一部の不祥事や問題行動を過度に一般化し、「やはり部落の人間は」と差別の原因を被差別者側に押し付け、「これは差別ではなく正当な批判だ」と正当化していきます。こうした偏見や差別的情報に影響を受けた主人公が、当事者との出会いや学びを通して変化していく姿を描いています。若い世代がネット社会に潜む差別の構造を理解し、人権や部落問題を学ぶ重要性に気づききっかけとなる教材です。 | (株)映学社                 | 22    | 2026 | DVD     |
| F  | 143 | 大切なひと                                     | インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。                                                                                                                                                    | 東映(株)・兵庫県・(公)兵庫県人権啓発協会 | 34    | 2023 | DVD     |